

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	太幡 直也 (たばた なおや)	所属	常磐大学人間科学部
連絡先 (電話・E-mail)	電話：029-232-2981 e-mail: ntabata@tokiwa.ac.jp		
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会欺瞞的コミュニケーション研究会		
成果概要	<p><b>1) 参加人数</b> (2014年3月8日の研究会参加者)          会員 7名 (うち認定心理士 1名)          非会員 3名 (うち認定心理士 1名)</p> <p><b>2) 集会等の目的・成果等</b>          本研究会は、欺瞞・隠蔽など、欺瞞的コミュニケーションに関する研究に関心がある研究者が、研究集会にて研究発表、議論を行うことを目的とし、2011年9月に発足した。本年度の主な活動は、「①研究会の実施」、「②研究会ホームページの製作」であった。以下、それぞれについて説明する。</p> <p><b>①研究会の実施</b>          本年度の研究会は、代表者に加え、佐藤拓氏 (いわき明星大学)、菊地史倫氏 ((公財)鉄道総合技術研究所) の3名を企画者として、2014年3月8日に文京学院大学本郷キャンパスにて開催した。発表者は鈴木菜実子氏 (文京学院大学) であり、タイトルと概要は以下の通りであった。社会、認知、発達、臨床、生理など、心理学の多岐の分野にわたる研究者が参加し、活発なディスカッションを行うことができた。</p> <p>(日本心理学会ホームページに掲載された情報から抜粋)          発表タイトル：対人関係に嘘がもたらすもの—臨床心理学の観点から          概要：嘘の機能にはさまざまなものがありますが、その中でも対人関係において嘘がもたらすものを、臨床心理学の観点から考察しようと思います。発表では、実際の臨床場面での嘘のあらわれを例にとり、心理療法という対人関係の場における嘘の機能について、倒錯という病気をキーワードとしてお話しします。嘘の心理学にあらわした事例の詳細とどのように治療が嘘から抜け出していったか、についてもお話しできればと思っています。</p> <p><b>②研究会ホームページの製作</b>          研究会活動を広く告知するため、研究会ホームページを製作した。コンテンツは、実施した研究会の発表内容の報告、欺瞞的コミュニケーションに関連する文献を紹介する内容である。コンテンツは、代表者に加え、佐藤拓氏 (いわき明星大学)、菊地史倫氏 ((公財)鉄道総合技術研究所) の3名で分担して製作した。また、ホームページ製作を委託した。2014年4月に運用開始予定で、現在準備を進めている。</p>		

2014年 3月 25日

日本心理学会研究会 2013 年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会欺瞞的コミュニケーション研究会

研究会番号 研13025

助成金額 ¥20,000

年月日	項目	金額
2014年3月8日	講演謝礼（鈴木菜実子）	¥10,000
2014年3月8日	会場費（文京学院大学）	¥3,000
2014年3月21日	ホームページ制作委託料	¥7,000
支出合計		¥20,000